

令和8年9月28日

桑名市議会議員 倉田 明子 様

教育福祉委員会

委員長 太田 誠

教育福祉委員会調査研究報告書

教育福祉委員会における所管事務調査について、下記のとおり調査研究結果を御報告します。

記

1 調査研究事項

保育人材の確保について

2 調査研究理由

子どもが健やかに成長し、安心して子育てができる環境を整えるためには、保育サービスの充実をはじめ、子ども・子育て支援のさらなる推進が重要である。近年、少子化が進行する一方で、保育ニーズの多様化や子育て支援の充実が求められており、保育現場を支える人材の確保や、子育て世帯が安心して生活できる環境の整備など、様々な課題への対応が必要となっている。

国においては、令和5年12月に策定された「こども未来戦略」等に基づき、子ども・子育て政策の強化を進めており、保育士等の処遇改善や人材の確保・定着に向けた取組を推進している。こうした中、自治体においても、地域の実情や子育て世帯のニーズを踏まえ、保育人材の確保・定着をはじめ、保育サービスの利用環境や子育て環境の充実に向けた取組を進めることが求められている。

こうした状況を踏まえ、当委員会では、本市において既に様々な子ども・子育て施策が進められている中、施策のさらなる充実・推進を図る上で参考となる取組を調査し、今後の本市の施策に生かすため、「保育現場を支える人材が不足していること」、「希望する保育所等に入所できない、いわゆる隠れ待機児童が発生していること」及び「外出時における保育環境の整備が十分でないこと」の3点を課題として捉え、「子ども・子育て支援について」をテーマに調査研究を行うこととした。

3 調査研究経緯

実施年月日	主な協議事項
令和8年 3月 4日	調査研究方法等の検討
令和8年 4月 2日	調査研究事項の検討
令和8年 4月14日	調査研究事項の検討
令和8年 4月30日	現状確認（執行部へヒアリング）、調査研究事項の選定
令和8年 5月15日	調査研究事項の決定、課題の整理
令和8年 6月 2日	全員協議会にて中間報告
令和8年 6月23日	行政視察先の決定
令和8年 7月15日	行政視察（兵庫県神戸市）
令和8年 7月16日	行政視察（兵庫県西宮市）
令和8年 7月27日	政策提言の方向性を協議
令和8年 8月 4日	政策提言に向けた具体的な内容を協議
令和8年 8月18日	政策提言に向けた具体的な内容を協議
令和8年 8月24日	全員協議会にて中間報告
令和8年 9月14日	政策提言案の協議、委員会調査研究報告書の調整
令和8年 9月28日	全員協議会にて調査研究結果を報告

4 調査研究概要

(1) 行政視察の実施

① 兵庫県神戸市

待機児童の解消を目的として設置された保育送迎ステーションを視察し、都心部への入所希望の集中により生じる地域間の保育ニーズの偏在を是正するため、都心部の駅周辺など利便性の高い場所に設置する取組について説明を受けた。また、保育所等への送迎に加え、小規模保育事業所を併設することで、送迎ステーションの施設を日中も有効活用する取組について、その実施状況や課題等を伺った。

また、保育人材の確保・定着を目的とした「6つのいいね」について、国等の補助制度を活用しつつ、国の基準を上回る市独自の支援策を講じるとともに、独自事業を展開することで、近隣自治体との差別化を図っている取組について説明を受けた。併せて、これらの取組による保育人材の確保・定着に向けた効果や成果、今後の課題等について伺った。

② 兵庫県西宮市

保育人材の確保・定着に向けた取組として、市単独による事業を数多く実施しているほか、事業所への聞き取りや保育士を対象としたアンケート調査を実施し、西宮市での就労を選択した理由や背景、各事業の認知度・利用状況等を把握する取組について説明を受けた。さらに、調査結果を基に、利用者からの反響が大きい事業や保育人材の確保・定着に効果のある取組等を分析し、その結果を今後の支援策の充実につなげていく取組内容や課

題等について伺った。

また、保育士の復職及び定着の支援として、市内の認可保育施設に保育士として勤務する方の子どもが保育所等へ入所する際に、利用調整における指数を55点加算するなど、保育士が安心して就労を継続できる環境の整備に向けた効果や成果、今後の課題等について伺った。

(2) 調査研究結果（まとめ）

近年、少子化が進行する一方、保育ニーズの多様化や子育て支援のさらなる充実が求められており、保育現場を支える人材の確保・定着は、全国的な課題となっている。多くの自治体において、保育人材の確保に向けた様々な取組が進められており、本市においても、保育士の離職防止や定着に向けた取組に加え、既存事業の効果を検証し、継続・拡充・見直し等を適切に判断することや、保育士を目指す学生との接点を確保し、将来の人材確保につなげていくことが課題となっている。

そこで、当委員会では、子ども・子育て支援の取組を検討する上での参考とするため、待機児童の解消に向け、都心部の駅周辺など利便性の高い場所に保育送迎ステーションを設置している兵庫県神戸市と、保育人材の確保に向け、復職支援をはじめ、保育士の就職から定着までを一体的に支援している兵庫県西宮市を視察した。

その後、政策提言に向け、各委員から示された具体的な提言案を基に委員間で協議を重ねた。その結果、当委員会としては、多様化する保育ニーズに対応し、質の高い保育を継続的に提供していくためには、現役保育士の定着支援に加え、保育士を目指す人材の確保や離職者の復職支援など、将来を見据えた総合的な保育人材確保策を一層推進する必要があるとの認識に至った。

以上を踏まえ、当委員会では、より具体的な政策提言のテーマを「保育人材の確保について」とし、①保育士等の子どもを対象とする保育施設の優先利用、②保育士養成施設との連携強化、③事業効果の検証体制及び情報発信の充実の3点を軸に提言することとした。

5 政策提言

【保育人材の確保について】

保育人材は、子どもの健やかな成長を支え、質の高い保育サービスを安定的に提供する上で必要不可欠な存在である。近年、少子化が進行する一方で、保育ニーズの多様化や子育て支援の充実が求められており、保育現場を支える人材の確保が全国的な課題となっている。

国においては、令和5年12月に策定された「こども未来戦略」等において子ども・子育て政策の強化を進める中で、保育士等の処遇改善や人材の確保・定着に向けた取組を推進しており、自治体においても地域の実情に応じた対策を講じることが求められている。

そのような中、本市では、“桑名市版”保育現場充実パッケージを策定し、保育士の処遇改善や職場環境の充実を図るなど、保育人材の確保及び保育現場の負担軽減に向けた取組を進めていることは承知している。

今後も多様化する保育ニーズに対応し、質の高い保育を提供していくためには、現役保育士の定着支援に加え、保育士を目指す人材の確保や、離職者の復職支援など、将来を見据えた総合的な施策を一層推進していく必要があるのではないかと考える。

そこで、持続可能な保育提供体制の確保を図る上で参考となるよう、以下の3点の事項について提言する。

① 保育士等の子どもを対象とする保育施設の優先利用

保育士の復職支援及び離職防止を図るため、保育士として就労する方が子育てと仕事を両立し、安心して働き続けることができる環境を整備されたい。そのため、保育士自身の子どもの保育環境を確保し、職場復帰や就労継続を支援する取組として、保育施設等の利用調整基準における保育士等の優先利用に係る調整指数について、他自治体の取組状況も踏まえながら、さらなる加点の引き上げを検討されたい。

② 保育士養成施設との連携強化

保育士を目指す学生に桑名市内の保育施設を就職先として選んでもらえるよう、保育士養成施設との連携の強化を図るため、養成施設における講義や保育士リクルート見学バスツアーの実施など、多様な取組を通じて学生と保育施設との接点を創出し、関係性を築く機会を充実されたい。

また、こうした取組を継続的かつ効果的に実施できるよう、保育士養成施設との連携協定の締結など、連携体制の構築についても検討されたい。

③ 事業効果の検証体制及び情報発信の充実

“桑名市版”保育現場充実パッケージをより実効性の高い施策として継続的に推進していくため、新規採用者や事業利用者を対象としたアンケート調査を実施するとともに、採用者数や定着率などの各種データを収集・分析し、事業効果を客観的に検証する体制を充実されたい。

また、その検証結果を踏まえ、事業内容を適宜見直すなど、根拠に基づく効果的な事業運営を図るとともに、現在実施している取組についても積極的に周知啓発し、市内外に広く発信することで、保育人材の確保・定着に向けた取組をより一層推進されたい。